

RPA ホールディングス(東 1:6572)

バリュエーション判断

NR ⇒ **NR**

(-)

目標株価

- 円 → - 円

訪問取材:2020年11月4日

担当:澤田 遼太郎

【連結】	(百万円、%、円:会/会社計画、予/エース経済研究所予想)									
決算期	売上高	伸率	営業利益	伸率	経常利益	伸率	当期利益	伸率	EPS	配当
2021/2 2Q	5,769	21	216	-38	194	-29	71	-21	1	-
2019/2	8,185	95	954	105	908	102	559	91	16	0.0
2020/2	10,070	23	471	-51	382	-58	17	-97	0	0.0
2021/2 会	11,750	17	560	19	510	34	127	647	2	0.0
2021/2 予	11,800	17	600	27	520	36	160	841	3	0.0

※2019年6月に1:2の株式分割を実施、EPSは修正済 2021/2期はレンジ予想の中央値を表示している

【セグメント情報】	20/2期 2Q	【PER】	【財務指標】	2020/8末
ロボットアウトソーシング事業	25%	19/2 44	BPS 225円	株価(11/17終値) 693円
ロボットトランスフォーメーション事業	72%	20/2 2,235	純資産 132億円	売買単位 100株
RaaS事業	1%	21/2予 253	総資産 183億円	発行株数 5,855万株
その他事業	2%		時価総額 406億円	PBR 3.08倍

<注目ポイント>

—作業を自動化できる RPA の導入支援や、RPA を自社活用した広告事業等を展開—

- ① 2021年2月期第2Qは増収減益。売上高 57.7 億円(前年同期比+21%)、営業利益 2.2 億円(同▲38%)、経常利益 1.9 億円(同▲29%)、当期利益 0.7 億円(同▲21%)となった。ロボットトランスフォーメーション事業は金融や通信カテゴリが大きく伸長し、大幅増収となったが、RaaS 事業の先行投資が重石で減益となった。今回より開示する EBITDA は 5.8 億円(前年同期比+4%)となり、投資の償却を除いたベースでは増収を確保した。
- ② 2Qまでの進捗を踏まえて、通期計画を上方修正した。レンジ予想のうち、利益の下限予想を引き上げた。下限シナリオからの上振れ分を反映した結果で、エース経済研究所では事業環境の底打ちが確認できたと解釈している。
- ③ ロボットアウトソーシング事業はパンデミックの影響でエンジニアリングなどの受託型案件が減少し、売上高 15.1 億円(前年同期比▲16%)となった。BizRobo!の導入社数は、Basic が 798 件(前四半期比+18 件)、mini が 632 件(同+110 件)と伸びているが、既存顧客のダウングレードや一部解約などもあり、ストック収益も微減となった。
- ④ ロボットトランスフォーメーション事業は、売上高 41.2 億円(同+46%)と伸長。金融・通信カテゴリの広告需要は一巡したが、今後成長トレンドに回帰すると見ている。
- ⑤ RaaS 事業は無料トライアル開始。採用やマーケティング等の先行投資を続ける方針。

目標株価及びバリュエーション判断を見送る

目標株価算出とバリュエーション判断については引き続き見送る。

ガートナーは技術としての RPA について、高すぎる期待が剥落する「幻滅期」の底を脱して、本格的な「普及期」に移り始めたとレポートしており、エース経済研究所でも同様に見ている。業績や株価への反映にはやや時間を要すると見ているが、変えられないレガシーシステムが問題となる現状において、これを自動化できる RPA の需要は大きいと考えている。

《アナリストによる宣言》

私、澤田遼太郎は本調査資料に表明された見解が、対象企業と証券に対する私個人の見解を正確に反映していることをここに証明します。

また、私は本調査資料で特定の見解を表明することに対する直接的または間接的な報酬は、過去、現在共に得ておらず、将来においても得ないことを証明します。

《利益相反に関する開示事項》

- エース証券株式会社(以下、エース証券)及びグループ会社は、本資料に掲載された企業の売買あるいは当企業に対し、引受、その他のサービスを提供する場合があります。
- 株式会社エース経済研究所(以下、ARI)は、エース証券との契約に基づき、エース証券への資料提供を一定期間、継続的に行うことに対し包括的な対価をエース証券から得ておりますが、本資料に対して個別に対価を得ているものではありません。
- また、銘柄選定も ARI 独自の判断で行っており、エース証券を含む第三者からの銘柄の指定は一切受けておりません。
- 執筆担当者、ARI と本資料の対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等： エース証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第 6 号

加入協会： 日本証券業協会

指定紛争解決機関： 特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

■手数料等及びリスクについて

●株式の売買には、約定代金に対して最大 1.265%の手数料(約定代金が 100 万円以下の場合、最低手数料 2,750 円)(税込み)が必要となります。●外国株式(中国株を除く)の取引には、国内の取引所金融商品市場における外国株券の売買等のほか、外国金融商品市場等における委託取引と国内店頭取引の 2 通りの方法があり、当該取引には、所定の手数料等(委託取引の場合は約定代金に対して最大 11.0%(75,000 円以下の場合・税込)の委託手数料及びその他現地手数料等、国内店頭取引の場合は所定の手数料相当額、等)をご負担いただく場合があります。●株式は、株価の変動により、損失を生じるおそれがあります。●上場有価証券等書面の内容をよくお読みください。

●外国株式は、為替相場の変動等により、損失を生じるおそれがあります。●非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債)を当社が相手方となりお買い付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。●債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。●外国債券は、為替相場の変動等により損失を生じるおそれがあります。●商品毎(投信・外債含む)に手数料等及びリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客様向け資料をよくお読みください。

エース証券及び ARI 免責事項等

- **当資料により株式・債券・その他金融商品(投信・外債含む)等の勧誘を行うことがあります。**本資料で言及した銘柄や投資戦略は、投資に関するご経験や知識、財産の状況及び投資目的が異なるすべてのお客様に、一律に適合するとは限りません。また、株式・債券等の有価証券の投資には、「手数料等及びリスクについて」に記載のとおり、損失を生じるおそれがあります。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断で行っていただきますようお願い致します。
 - 本資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて ARI が作成し、エース証券(以下、当社)がお客様にご提供いたしますが、当社及び ARI は、ARI が基にした情報及びそれに基づく要約または見解の正確性、完全性、適時性などを保証するものではありません。本資料に記載された内容は、資料作成時点におけるものであり、予告なく変更することがあります。
 - 本資料を利用した結果、お客様に何らかの損害が発生したとしても、当社及び ARI は、何らの責任を負うものではありません。
- ※(著作権等)・・・本資料に関する一切の知的財産権は、原則として ARI に帰属します。電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、本資料の無断転用、複製等を行わないようお願い致します。
- ※ 尚、出所記載なき資料は各種資料より ARI 作成。